

第49回卒業証書授与式挙

波佐見中学校学校便り

学校教育目標 豊かな人生を切り拓き、よりよい未来の創り手となる生徒の育成



第 28 号

編集・発行

波佐見中学校

校長 池本敦司

3年生のみなさん 卒業おめでとう!

3月14日(金)本格的な春の訪れを静かに待つかのように穏やかな気候の中、第49回波佐見中学校卒業証書授与式を挙行了しました。一三四名の生徒たちが、3年間通った学び舎をしつかりと巣立っていきましました。私も校長として初めての卒業証書授与式。証書を間違いない渡し、式辞を述べる。緊張の連続でした。

卒業生が歌う「旅立ちの日に」は、歌詞を自分たちの学校生活を思い出しながら、アレンジしたこと。大変感動的で、練習の時から私の涙腺はかなり緩んだ状態でした。卒業式本番の時に取り乱さないようにと思いつつ臨みました。

来賓の方々からたくさんの心温まるお言葉をいただきました。この場を借りてお礼を申し上げます。

「卒業アルバムにコメントをください」と、私のところに来てくれた生徒たちもいました。多くの生徒たちには書けなかったもので、書いていない皆さんにも伝えておきますね。卒業アル

バムには「素直」と書きました。今日、式辞の中でお話しした言葉です。この言葉は、私が前回波佐見中学校に勤務している時からずっと、結構な頻度で自分が関わった生徒たちに贈っている言葉です。式辞の中でも言った通り、素直で謙虚な気持ちをもって人に接すれば、たくさんのお話を学ぶことができるだけでなく、自分の周りに自分を成長させてくれる人が集まってくる。是非素直な気持ちを忘れず、自分自身の人生を切り拓き、幸せになつてく



9年間お世話になった給食。最後のメニューは赤飯、春雨汁、唐揚げ、紅白なます、プリンタルトでした。給食センターの皆さんおいしい給食ありがとうございました!

今年日本列島を襲った寒波の影響で、ウェイブホルの枝垂桜もまだ花を開いていないようだ。近づいてみると確実につぼみはふくらみ、ギョツと詰まったエネルギーが今にもはじけて咲きだしそうである。確実に春はやってきている▼今日、波佐見中学校を巣立っていく一三四名の生徒たちも、これからどんな花開く桜のように、可能性に向かってエネルギーが胎動しているように感じる▼中学校生活が楽しかった人、逆にいろいろ悩んだり、思い描いていた中学校生活とは違いつらかったという人もいるだろう。私が尊敬する先輩から聞いた言葉「過去と他人は変えられないが、未来と自分を変えられる」▼卒業生の皆さんだけでなく全ての人に共通して言えることは、みんな自分が幸せになる可能性(未来)を有しているということ。でも、それは自分次第。桜満開の人生になるように頑張ろう。

校長日記